



ねんねころた

北原白秋

ねんね、こつた

ねんねや、ねんねや、おねんねや、

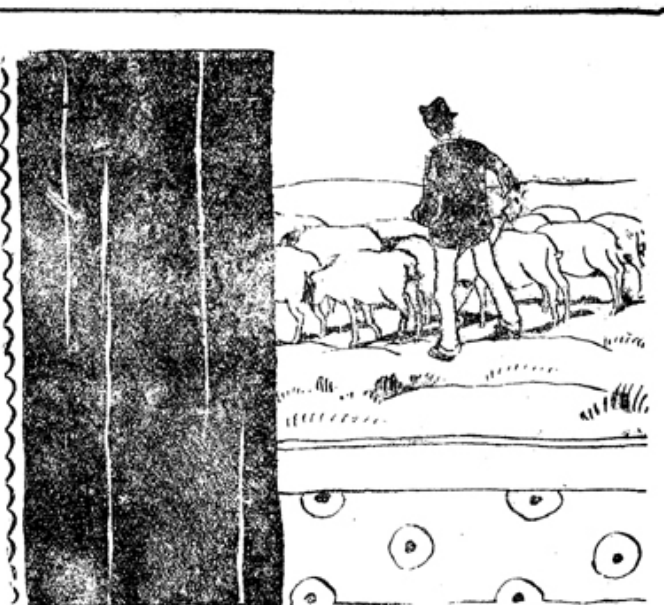
坊やが父さん羊守、

お母さんは坊やのお守役、

ねんねのお國のねむりの木、

ねんねやねんねとゆすります、

ゆすればお夢がふりかゝる、



ねんねや、ねんねや、おねんねや、

(獨逸の搖籃唄)

月の中の人

月の中の人が

ころがつて落ちて、

北へ行く道で、

南へ行つて、

凝えた豌豆汁で、

お舌を焼いて焦がした、

(英國童話)